

# 授業計画書 (シラバス)

教科名	キルンワークⅡ	曜日 時間	木曜日、金曜日 9:10～15:50	担当教員名	松藤 孝一
-----	---------	----------	-----------------------	-------	-------

		前期指導案		後期指導案	
（年 2間 4授 回業 日）	4月	16 17 23 24 30		10月	
	5月	1 7 8 14 15 21 22 28 29		11月	
	6月	4 18 19 25 26		12月	
	7月	2 3 9 10 16		1月	
	9月			2月	
方授 法業	( 講義 ・ 実技 )			( 講義 ・ 実技 )	
授業 内容	<p>以下の課題を通して授業を進めていく。                      課題 — キルンワーク：ガラス表現の探求                      本課題は、キルンワークを基盤としたガラス表現の研究である。1年次に発見した素材や技法から作品を発展させることも可能とし、学生が多様な視点から素材や技法を見つめ直し、表現としてのガラス研究に取り組むことを目的とする。また、必ずしも素材や技法を起点とする必要はなく、コンセプトをどのようにガラス造形へ転化するかを探ることも重要なアプローチとする。視覚的・技術的な制作だけでなく、思想的・概念的なプロセスも研究の対象とする。                      授業では、名古屋芸術大学での連携講評会（7月10日）および前期の全体講評会に向けて制作を進め、完成度のある作品発表を目指す。</p>				
到達 目標	<p>本授業では、学生が教員と相談しながら研究題目を設定し、それぞれの研究内容および個人のレベルに応じた目標を定めて制作・研究に取り組む。</p>				
成 績 評 価	<p>成績評価の基準は以下の通りである。                      積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／課題の完成度／個人の成長度／出席状況</p>				
留 意 事 項	<p>◎エナメル絵付けや引き型・プレス型などの特殊な成形技法については、2年次の授業内で指導を行う。                      ◎本授業では、学生の主体的な取り組みを重視し、自主性をもって制作および研究に取り組むことが求められる。</p>				